

## 次世代充電式カイロ

### Cheek

私が「まもる」というテーマを考えた時に思いついたのは、暖かさは精神的にも肉体的にも人を守ってくれるという事でした。そこで私がデザインしたのは次世代充電式カイロ「cheek」です。これはベンジンや鉄粉、充電電池を必要としない、充電式カイロです。どんな時でも役に立ち人を守ってくれるのは、日常で行う当たり前の行動です。非常時等では日常で行っていない特別な行動は出来ませんだからこそ、「cheek」は人が寒さを感じた時に行う、当たり前の行動で充電をして発熱をするのです。「cheek」の形状は江戸時代のカイロ「温石（おんじゃく）」の歴史を踏まえ、一般的な石の形状をデフォルメした形状です。そして、本体は発熱することでほんのりと赤く発光します。これは暖かくなっている事を示すサインであると同時に、人が寒さで頬がほんのり赤く染まる様子を表しています。



### 手をこすりあわせて息を吹きかけるだけ

「cheek」は本体を寒い時に手を擦り合わせるように、上下にずらす反復運動をする事で充電をします。そして、充電後に本体側面のセンサーに温かい息を吹きかける事で発熱をします。本体側面に付いている、温度調節のボタンで温度を調節する事が可能です。緑ボタン 弱モード:約40℃ / 赤ボタン 強モード:約43℃



本体を上下にずらす反復運動で充電をしているシーン



本体に息を吹きかけて発熱をさせているシーン